



新大分土地 代表取締役社長

阿南 勝啓氏

- ①紺碧
②昭和のアナログレコードを楽しむ
③感動

貸ビル屋の使命を胸に場所を提供

貸しビル事業を手掛ける同社にとって、テナントの飲食店や美容室、エステサロンなどはコロナ禍で影響を受けた業種ばかり。各テナントにヒアリングをし、独自の支援策を立てた。

一つ目は固定費軽減のための支援。二つ目がテークアウトを始める店舗に向けた「T.O.G.O.デリシヤスキャンペーン」だ。自社ビルに

入居する飲食店が利用できる統一ロゴを使った持ち帰り用の袋を作り、商品写真やテークアウトメニューのデザイン制作などを補助している。

三つ目が、行政からの各種補助金や支援金の周知。「これまでも入居者目線を大切にしてきたが、未曾有の環境に直面し、貸ビル屋としての真価が問われた。入店者と

本音で話し合う中で助け合いながら距離を縮めることができた。スタッフは1店舗たりとも退店させないという気持ちを共有して支援に取り組んだ」と言う。

今年は延期していた賃貸住宅の計画を実行に移す。大分市内に7棟を建築予定で「一人一人が、自宅で過ごす時間のイメージを膨らませられるような、暮らしを楽しむ



建設中のTAKENISHI TERRACE

新しいライフスタイルを提案するものになる」と意気込む。

ガレリア竹町（大分市）に面した駐車場に、にぎわい創出のための

木造平屋「TAKENISHI TERRACE」を建設。2月オープンに向けて準備中で、コーヒー、ドーナツ、コロッケを扱う3店舗

が出店する見込みだ。イートインコーナーやガーデンテラスを造る予定で、楽しさを感じられる空間にする。「先が見えず不安な現状でも一歩踏み出すスイッチを押して

くれたのは、出店したいと言ってくれた入居者。場所を必要とする人がいるからこそ、提供し続けるのが貸ビル屋の使命」と語る。

昨年購入したフンドーキンマンション（大分市）の跡には将来的に賃貸マンションを新築する予定。

「当時の人が憧れた建物であったように、これからの時代の人が見て、住みたいと思うようなモダンで楽しく、ワクワク感を発信できるような新しい未来を創りたい」と展望を広げる。



新大分土地株式会社
大分市中央町1-5-25新大分ビル4階
TEL (097) 534-3371
<https://www.shinoita.com>

